

安全データシート (SDS)

1. 化学品等及び会社情報

化学品の名称 (日本語)	白馬 目からウロコのクリーナー
製品コード	104224
供給者の会社名	株式会社万立
住所	大阪府柏原市片山町 13-59
電話番号	072-977-0898
電子メールアドレス	info@mannryu.com
ファックス番号	072-977-0899
緊急連絡電話番号	090-9984-1577
推奨用途	ガラス・ステンレスの水垢や鱗状痕の除去
使用上の制限	鏡には使用できない
国内製造事業者等の情報	同上

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	爆発物	分類できない
	可燃性ガス	区分に該当しない (分類対象外)
	エアゾール	区分に該当しない (分類対象外)
	酸化性ガス	区分に該当しない (分類対象外)
	高压ガス	区分に該当しない (分類対象外)
	引火性液体	分類できない
	可燃性固体	区分に該当しない (分類対象外)
	自己反応性化学品	分類できない
	自然発火性液体	分類できない
	自然発火性固体	区分に該当しない (分類対象外)
	自己発熱性化学品	分類できない
	水反応可燃性化学品	分類できない
	酸化性液体	分類できない
	酸化性固体	区分に該当しない (分類対象外)
	有機過氧化物	分類できない
	金属腐食性物質	分類できない

	鈍性化爆発物	分類できない
健康に対する有害性	急性毒性（経口）	区分 4
	急性毒性（経皮）	分類できない
	急性毒性（吸入：気体）	区分に該当しない（分類対象外）
	急性毒性（吸入：蒸気）	区分 4
	急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	分類できない
	皮膚腐食性／刺激性	区分 2
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分 1
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	生殖毒性・授乳影響	分類できない
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	分類あり 区分 2（呼吸器系） 区分 2（血液） 区分 3（麻酔作用）
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分あり 区分 2（血液系）
	誤えん有害性	分類できない
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期（急性）	区分 1
	水生環境有害性 長期（慢性）	区分 2
	オゾン層への有害性	分類できない

GHS ラベル要素

絵表示（ピクトグラム）



注意喚起語

危険有害性情報

危険

飲み込んだ場合や吸入した場合は有害

皮膚刺激

重篤な眼の損傷

眠気又はめまいのおそれ

呼吸器系、血液の障害のおそれ

長期にわたる又は反復ばく露による血液系の障害のおそれ

水生生物に非常に強い毒性

長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き

安全対策	スプレーを吸入しないこと。 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
応急措置	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。 次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。 その後も洗浄を続けること。 異常を感じる場合は直ちに医師に連絡すること。 皮膚刺激が生じた場合：医師の診察／手当を受けること。
保管	屋内の涼しく換気のよい場所で施錠して保管すること。
廃棄	都道府県知事の認可を受けた産業廃棄物処理業者と契約し、産業物処理法（産業物の処理及び清掃に関する法律）及び関係法規、法令を厳守し、適正に処理すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物（製品）の区別	混合物
化学物質・混合物（製品）名称	白馬 目からウロコのクリーナー
成分及び濃度又は濃度範囲	

- 組成物質 (1) 水(非公開)(CAS RN:7732-18-5)
- 組成物質 (2) ポリオキシエチレンアルキルエーテル(10.8%)(CAS RN:84133-50-6)
- 組成物質 (3) ポリエチレングリコール(10.8%)(CAS RN:25322-68-3)
- 組成物質 (4) クエン酸(非公開)(CAS RN:77-92-9)
- 組成物質 (5) 硝酸アンモニウム(1.593%)(CAS RN:6484-52-2)
- 組成物質 (6) 酢酸(1.593%)(CAS RN:64-19-7)
- 組成物質 (7) 安息香酸(非公開)(CAS RN:65-85-0)
- 組成物質 (8) 柑橘系添加剤(非公開)(CAS RN:非公開)
- 組成物質 (9) 無機塩(非公開)(CAS RN:非公開)

官報公示整理番号（化審法）

ポリオキシエチレンアルキルエーテル(10.8%)(CAS RN:84133-50-6); 化審法官報整理番号(7-97)  
 【ポリオキシアルキレン(C2~4, 8) モノアルキル(又はアルケニル)(C1~24) エーテル(n=1~150)】  
 酢酸(1.593%)(CAS RN:64-19-7); 化審法官報整理番号(2-688)【酢酸】  
 citric acid(5.310%)(CAS RN:77-92-9); 化審法官報整理番号(2-1318)【クエン酸】  
 硝酸アンモニウム(1.593%)(CAS RN:6484-52-2); 化審法官報整理番号(1-395)【硝酸アンモニウム】

官報公示整理番号（安衛法）

#### 4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。異常があれば、直ちに医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	皮膚刺激が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。
眼に入った場合	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 直ちに医師に連絡すること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
急性症状の最も重要な徴候症状	情報なし。
遅発性症状の最も重要な徴候症状	情報なし。
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	可能な限り保護具（手袋、眼鏡）を着用すること。
医師に対する特別な注意事項	特別な解毒剤はない。症状に応じて対症的に治療すること。

#### 5. 火災時の措置

適切な消火剤	粉末消火薬剤、泡消火薬剤、二酸化炭素、砂、霧状水、等。
使ってはならない消火剤	情報なし。
火災時の特有の危険有害性	燃焼ガスには、一酸化炭素等の有毒ガスが含まれるので消火作業の際には煙の吸入を避けること。
特有の消火方法	火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火すること。消火作業は可能な限り風上から行うこと。関係者以外は安全な場所に退避させること。周囲の設備などに散水して冷却すること。消火のための放水等により、製品もしくは化学物質が河川や下水に流出しないよう適切な処置を行うこと。
消火活動を行う者の特別な保護具	適切な保護具（手袋、眼鏡）を着用すること。
消火活動を行う者の予防措置	燃焼ガスには、一酸化炭素等の有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には適切な呼吸用保護具を着用し、煙やガスの吸入を避けること。

#### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	
人体に対する保護具	作業には必ず保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を着用すること。
人体に対する緊急時措置	多量の場合、人を安全な場所に退避させること。必要に応じた換気を確保すること。

環境に対する注意事項	漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。
封じ込めの方法及び機材・材料	盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてからドラム等に回収すること。
浄化の方法及び機材・材料	少量の場合、吸着剤（土、砂、ウエス等）で吸着させ取除いた後、残りをウエス、雑巾等で良く拭き取る。大量の水で洗い流すこと。多量の場合、人を安全な場所へ退避させること。
二次災害の防止策	付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備すること。火花を発生しない安全な用具を使用すること。床に漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意すること。漏出物の上をむやみに歩かないこと。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取り扱い_技術的対策	使用前に使用説明書を入手すること。 すべての安全注意事項を読み理解するまで取り扱わないこと。
取り扱い_安全取扱注意事項	スプレーを吸入しないこと。 接触、吸入又は飲み込まないこと。 容器はその都度密閉する。 密閉された場所における作業には、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具を着けて作業する。 皮膚、粘膜、または着衣に触れたり、目に入らぬよう適切な保護具を着用する。 取り扱い後は手・顔等を良く洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。 取り扱いは、換気のよい場所で行い、漏洩、あふれ、飛散しないように注意し、みだりに蒸気を発生させない。
取り扱い_接触回避	鉄、アルミ等の金属との接触を避けること。
取り扱い_衛生対策	取扱い後は手をよく洗うこと。
保管_安全な保管条件	火気、熱源から遠ざけて保管する。日光の直射を避ける。通気の良い所に保管する。
保管_安全な容器包装材料	本剤の小分け容器には、ステンレス、ポリエチレン等の材質を使用すること。鉄、アルミ製容器は避けること。

## 8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度	酢酸(1.593%) (CAS RN: 64-19-7); 日本産業衛生学会: 許容濃度 (ppm) 10、 許容濃度 (mg/m <sup>3</sup> ) 25)
------	---

管理濃度	設定されていない。
設備対策	蒸気、ヒューム又はミストが発生する場合は、局所排気装置を設置すること。取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置すること。
呼吸用保護具	保護面を着用すること。
手の保護具	保護手袋を着用すること。
目、顔面の保護具	保護眼鏡／保護面を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	保護衣を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	液体
色	無色透明
臭い	微かに特異な臭気
融点・凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲	100.0 °C
可燃性	データなし。
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	データなし。
引火点	データなし。
自然発火点	データなし。
分解温度	データなし。
pH	1.2以下（原液）
動粘性率	データなし。
溶解度	水と任意に溶解する。
n-オクタノール／水分配係数（log 値）	データなし。
蒸気圧	データなし。
密度及び／又は相対密度	1.08±0.02
相対ガス密度	データなし。
粒子特性	データなし。

10. 安定性及び反応性

反応性	自己反応性無し。酸性物質とは中和反応により発熱する。
化学的安定性	通常の見扱条件では安定。
危険有害反応可能性	鉄、アルミ等は腐食するので接触を避ける。
避けるべき条件	性能上問題ないが、紫外線による退色のおそれあり。
混触危険物質	情報なし。
危険有害な分解生成物	情報なし。

1.1. 有害性情報

急性毒性（経口）	計算結果が 1716.8720934mg/kg のため、区分 4 に該当。 危険有害性情報:H302 飲み込むと有害
急性毒性（経皮）	区分に該当しない
急性毒性（吸入：気体）	GHS 定義による気体ではない。
急性毒性（吸入：蒸気）	ATEmix=(100 - 31.328) / ((21.239% / 1.5mg/l )) 計算結果が 4.8499459mg/l のため、区分 3 に該当。 危険有害性情報:H332 吸入すると有害
急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	区分に該当しない
皮膚腐食性／刺激性	加成方式が適用できる成分からの判定： (区分 1+1A+1B+1C) × 10+区分 2 の成分合計が 37.169%であり、濃度限界(10%)以上のため、区分 2 に該当。 危険有害性情報:H315 皮膚刺激
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	加成方式が適用できる成分からの判定： 眼区分 1+皮膚区分 1 の成分合計が 24.425%であり、濃度限界(3%)以上のため、区分 1 に該当。 危険有害性情報:H318 重篤な眼の損傷
呼吸器感作性	データ不足のため分類できない。
皮膚感作性	データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性	データ不足のため分類できない。
発がん性	データ不足のため分類できない。
生殖毒性	データ不足のため分類できない。
生殖毒性・授乳影響	データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	CAS 番号:64-19-7 が 1.593%≥1%のため、区分 2(呼吸器系)に該当。 CAS 番号:64-19-7 が 1.593%≥1%のため、区分 2(血液)に該当。 区分 3(麻酔作用)の成分合計が 21.239%であり、濃度限界(20%)以上のため、区分 3(麻酔作用)に該当する。 危険有害性情報:H335 呼吸器への刺激のおそれ
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	CAS 番号:6484-52-2 が 1.593%≥1%のため、区分 2(血液系)に該当。 危険有害性情報:H373 長期にわたる又は反復ばく露による血液系の障害のおそれ
誤えん有害性	データ不足のため分類できない。

1.2. 環境影響情報

水生環境有害性 短期（急性）	加算法 区分 1×毒性乗率が 26.018%であり、濃度限界（25%）以上の ため、区分 1 に該当。 危険有害性情報:H400 水生生物に非常に強い毒性
水生環境有害性 長期（慢性）	加算法 (毒性乗率×10×区分 1)+区分 2 が 212.390%であり、濃度限界 (25%) 以上のため、区分 2 に該当。
生態毒性	データなし。
残留性	データなし。
分解性	データなし。
生体蓄積性	データなし。
土壤中の移動性	データなし。
オゾン層への有害性	データ不足のため分類できない。

### 1.3. 廃棄上の注意

#### 環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

残余廃棄物（化学品）	地域の規則に従って廃棄すること。焼却する場合、関連法規・法令を 厳守すること。廃棄する場合、都道府県知事の認可を受けた産業廃棄 物収集・運搬・処理業者と契約し、廃棄物処理法（廃棄物の処理及び 清掃に関する法律）及び関係法規・法令を厳守し、適正に処分するこ と。
汚染容器及び包装	地域の規則に従って廃棄すること。焼却する場合、関連法規・法令を 厳守すること。廃棄する場合、都道府県知事の認可を受けた産業廃棄 物収集・運搬・処理業者と契約し、廃棄物処理法（廃棄物の処理及び 清掃に関する法律）及び関係法規・法令を厳守し、適正に処分するこ と。

### 1.4. 輸送上の注意

#### 国際規制

国連番号	3 2 6 5
品名（国連輸送名）	その他の腐食性液体、酸性、有機物、クエン酸
国連分類（危険有害性クラス）	クラス 8（腐食性物質）
容器等級	III

#### 国内規制がある場合の規制情報

海上規制情報	船舶安全法に定められている輸送方法に従うこと。
--------	-------------------------



航空規制情報 航空法に定められている輸送方法に従うこと。

陸上規制情報 消防法、労働安全衛生法等に定められている輸送方法に従うこと。

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策

輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認すること。転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行うこと。

## 15. 適用法令

労働安全衛生法

酢酸 (1.593%) (CAS RN : 64-19-7) ; ラベル表示・SDS 交付義務対象物質 (別表第9の176) 【酢酸】

硝酸アンモニウム (1.593%) (CAS RN : 6484-52-2) ; ラベル表示・SDS 交付義務対象物質 (別表第9の308) 【硝酸アンモニウム】

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法)

酢酸 (1.593%) (CAS RN : 64-19-7) ; ラベル表示・SDS 交付義務対象物質 (別表第9の176) 【酢酸】

硝酸アンモニウム (1.593%) (CAS RN : 6484-52-2) ; ラベル表示・SDS 交付義務対象物質 (別表第9の308) 【硝酸アンモニウム】

毒物及び劇物取締法

その他の国内法令

硝酸アンモニウム (1.593%) (CAS RN : 6484-52-2) ; 水濁法・有害物質 (政令第2条第26号) 【アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物】

## 16. その他の情報

参考文献

化学品の分類および表示に関する世界調和システム (GHS) 改訂9版 (国際連合)

GHS 対応 化管法・安衛法におけるラベル表示・SDS 提供制度 (厚生労働省)

備考

本記載内容は本製品に関するものであり、危険・有害性化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として、取扱う業者に提供されるものです。

また、情報の正確性、信頼性、あるいは完全性について保証するものではありません。

記載内容は現時点で入手出来る情報に基づいて作成してありますが、新しい知見により改訂されることがあります。

取扱う業者は、これを参考として自らの責任において、個々の取扱い等の実態に適切な処置を取ることが必要であることを理解した上で、使用されるようお願いいたします。